

# 施工手順書⑮-1

## MILAOS

### ミラオス

#### ステルス枠 施工手順書一覧

##### 共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。  
※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。  
※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

##### ①木工事

①-1.ステルス枠・標準仕様 / ①-2.ステルス枠・準耐火仕様  
①-3.インセット枠仕様

##### ②クロス・塗り壁工事 (ステルス枠・インセット枠共通)

##### ③扉・金物の取

(ステルス枠・インセット枠共通)

③- 1. 開き戸  
③- 2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)  
③- 3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)  
③- 4. 片引き戸(床付レール)

##### シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④～⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

##### ④クローゼット

④- 1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸  
④- 3. スライド片開き戸

##### ⑤オートマチックドア

⑤- 1. 片引き戸(上吊)、⑤- 2. 片開き戸

##### ⑥ヴェトロ・ミラノ

⑥- 1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 開き戸

##### ⑦カエサル

⑦- 1. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット  
⑦-2. アウトセット片引き戸(上吊)

##### ⑧マルコ

⑧- 1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上)

##### ⑨フィット

⑨- 1. スイング戸 ⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、2枚引

##### ⑩ファイブクイーンズ・インディゴ

⑩- 1. スイング戸

##### ⑪ソリスト・パレス

⑪- 1. ローリング戸

##### ⑫カーム

⑫- 1. ローリング戸

##### ⑬フィーナ

⑬- 1. 片引き戸・アウトセット片引き戸・2/3枚引込み戸・2/3枚引違

##### ⑭テラ

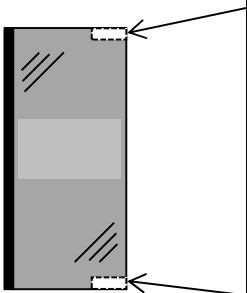




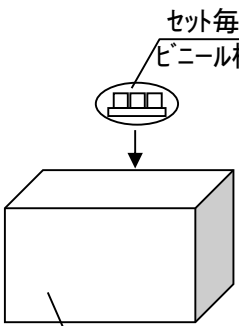
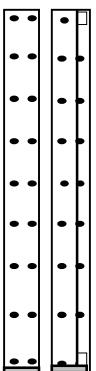
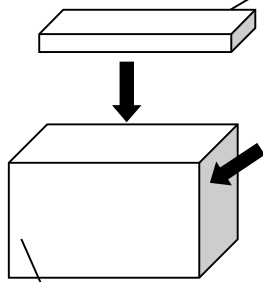
⑭- 1. 片開き戸、⑭- 2. 片引き戸(上吊)

##### ⑮ミラオス

⑮- 1. スイング戸



## □納品形態










扉と同時に納品されるもの	
建具	建具金物箱
 <p>ヒンジは取付済 ＜上側ヒンジ＞</p>   <p>＜下側ヒンジ＞</p>   <p>【注意】吊り込む向きあり、“1 扉の吊り込み” 参</p>	<p>セット毎に ビニール梱包</p>  <p>邸別段ボール箱</p>
下地枠と同時に納品されるもの	
下地枠	下地金物箱とレール
 <p>2本</p>	<p>セット毎に梱包</p>  <p>邸別段ボール箱</p> <p>施工手順書</p>

### 注意！

- ・テラの扉重量は最大約55kgです。
- ・扉を運ぶ時、吊り込む時の角当て等、取扱いには十分ご注意ください。
- ・扉A面に貼り付けられた保護フィルムは、お施主様引き渡し時まで剥がさないで下さ

□片引き戸【テラ専用】

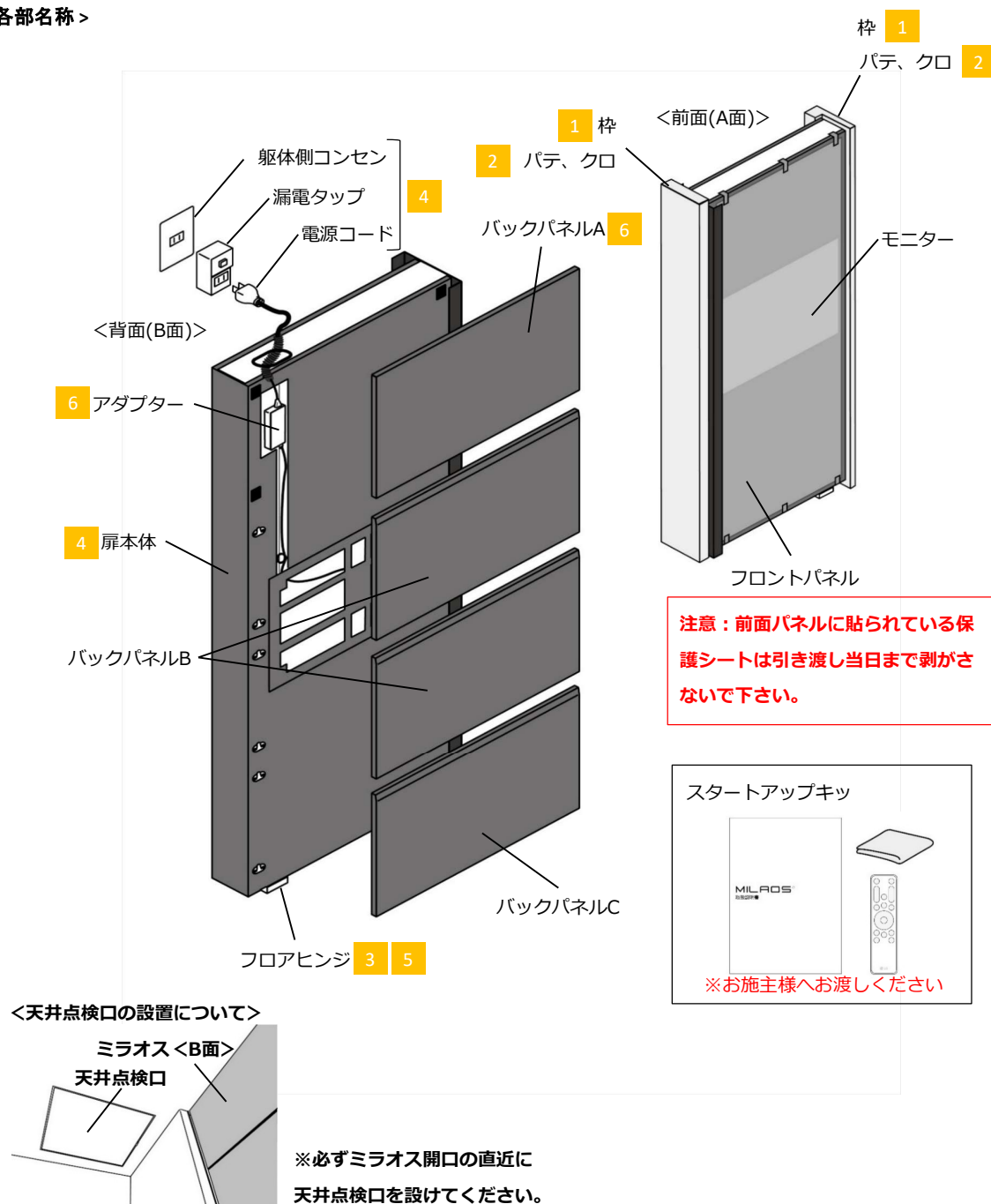
□金物箱の梱包内容

下地金物箱			
下部フロアヒンジ受け	フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ	上部フロアヒンジ受け
 1セット	 4本	 使用しません 1セット	 1個
上部ヒンジ受け用スペーサー	六角レンチ(M3・M4)	扉側下部ヒンジカバー	扉側上部ヒンジカバー
 1枚	 1セット	 1個	 1枚
漏電タップ	配線ロキャップ	ヒンジカバー取付ビス	施工手順書
 1個	 1個	 2本	 1部
戸当り	ヒンジ取付ビス	扉側上部ヒンジ	扉側下部ヒンジ
 1個	 13本(M4.5×25) 1セット	 扉に組付けて出荷 1個	 扉に組付けて出荷 1個

下地金物箱	
調整ビス、スペーサー	
 1セット	

## ■ 施工に関する流れ

### <各部名称>



## 0 施工前の確認

下地枠を取り付ける前に、躯体側に木下地が隙間なく平滑に入っているか、開口部の巾・高さ寸法を確認してください。

## 1 枠

### 1-2 縦枠下地

①縦枠下地を壁厚(柱)の中央にあてレーザー等で立ちを見ながら、同梱の調整ビスで取付けてください。

※クロス・塗り壁で仕上げますのでビス頭の飛び出しは厳禁です。

②取付の際に、クリアランススペーサー(調整ビスに同梱)を柱と枠の間に入れながら、調整ビスを締めてください。

※柱と縦枠下地のクリアランスは2mmが標準設定です。

③取付・調整後、縦枠下地と柱の間にクサビ、又はパッキン(現場手配品)を接着剤併用(表裏塗布)にて差込み、縦枠下地が動かないようガッチリ固定してください。

## 2 パテ、クロス

### 2-1 パテ

縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。

下地パテ、仕上げパテを適正な厚みで施工してください。

### 2-2クロス

下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。

入隅出隅部は、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となります。

## 3 ヒンジ

上下のヒンジ中心を正しく墨出しし、ヒンジを施工してください。

## 4 扉

吊り込みには、吊り込みの向きと扉側ヒンジの向きが一致する必要が有ります。

## 5 調整

建付け調整後、カバーを付けて完了です。

## 6 こんなとき

緊急時の対処方法

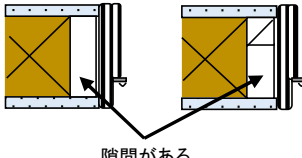
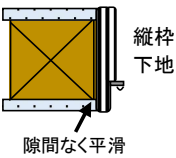
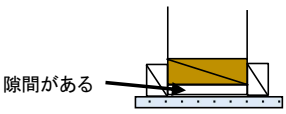
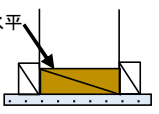
開閉時の異音がするとき

パネルの外し方等

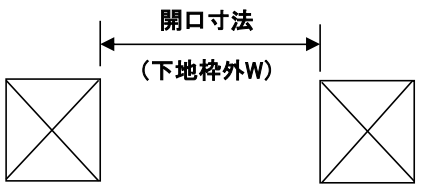
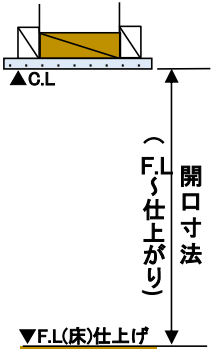
## 0 施工前の確認

### □ 開口部の確認

#### 開口部(躯体側木下地)の確認

<p>下地枠を取り付ける前に、躯体側に木下地が隙間なく平滑に入っているか確認をしてください。</p>	 <p>隙間がある</p> <p>縦枠 下地</p> <p>×</p>	 <p>縦枠 下地</p> <p>隙間なく平滑</p> <p>○</p> <p>下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。</p>
	 <p>隙間がある</p> <p>×</p>	 <p>隙間なく平滑</p> <p>○</p>
<p><b>ポイント</b></p> <p>※躯体側の木下地（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。</p> <p>※上枠下地が無い納まりの場合でもクロスのヨレ・ヒビを防ぐために木下地は隙間なく平滑に入れてください。</p>		

#### 開口部(寸法)の確認

<p>下地枠を取り付ける前に、開口部の巾・高さ寸法を確認してください。</p>	 <p>開口寸法 (下地枠外W)</p>	 <p>開口寸法 (F.L.仕上がり)</p> <p>△C.L</p> <p>▽F.L(床)仕上げ</p>
<p><b>ポイント</b></p> <p>※開口寸法は邸別の納まり図でご確認ください。</p> <p>※納まり図の高さ寸法はF.L(床仕上げ面)からの寸法となっているので注意してください。</p>	<p>【巾寸法】</p> <p>開口寸法 (= 下地枠外W)</p>	

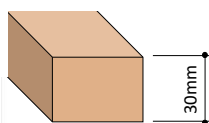
# □スイングドア【ミラオス専用】

## 1 枠

枠取付時に抑えるポイント！！

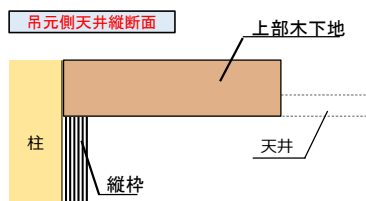
- ・枠と躯体が緊結される事(ダンドリビスを使用し、クサビで固定する)
- ・開口寸法は納まり図の寸法を守る事
- ・上部ヒンジ部は30mm以上の木下地を施工する事

上部木下地



上部木下地を用意する

吊元側天井縦断面



厚み30mmの上部木下地を取付け。  
上部木下地は天井高さに合わせる。

注意！

※縦方向の開口は指定の寸法から+2mmを超えるとガタツキや異音発生の原因となる為、開口寸法を守って施工してください。

≦+2mm

(FL)天井仕上げ  
開口寸法

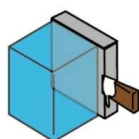
下地枠内寸法

開口寸法

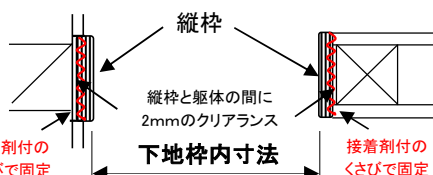
注意！

※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

※標準納まりの場合、躯体と縦枠の間には"2mm"のクリアランスを設けクサビと接着剤



クサビを使って緊結！！



開口寸法を確認して柱に縦枠をダンドリビスで取付けてください。

2mmクリアランスには接着剤付のくさびを入れて枠が動かないように固定してください。

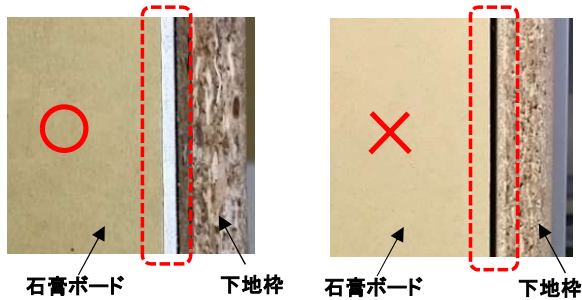
## □スイングドア【ミラオス専用】

### 2 パテ、クロス

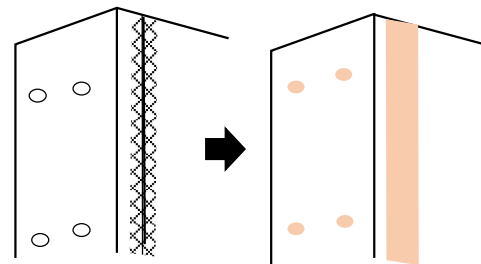
#### クロス施工に関するポイント！！

- ・枠へ石膏ボードを枠に突き付け隙間の無い様にする
- ・メッシュテープを活用し、痩せ、割れの対策をする
- ・クロス寄れに注意する

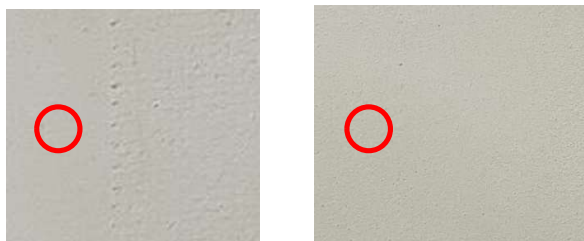
#### 石膏ボードは下地枠に突き付ける



#### メッシュテープを活用し、痩せ、割れの無い状態にすると共に、パテの塗り厚を適正にする



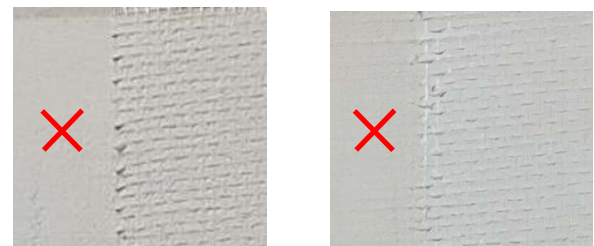
#### <パテ塗り厚の目安>



下地パテ

上塗りパテ

下地パテを塗布した時点でメッシュテープの繊維が隠れ、上塗りパテで完全に隠れる状態が適量です。



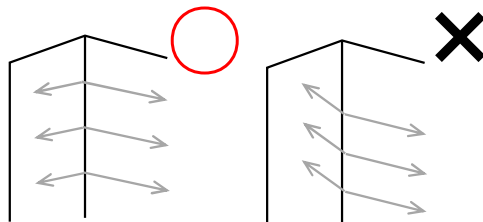
下地パテ

上塗りパテ

メッシュテープの繊維が浮き出る状態はパテの量が不足しています。

#### <クロスの施工>

クロスにヨレが無い様に施工してください。



#### <コーナー巾木の施工>





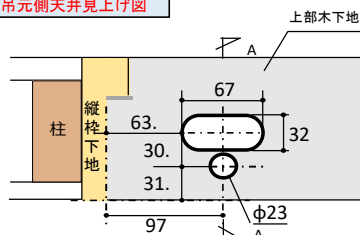
# □スイングドア【ミラオス専用】

## 3 ヒンジ

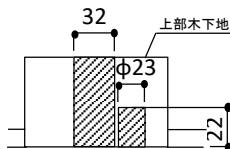
### ヒンジ取付に関するポイント！！

- ・上下ヒンジの中心を守り施工する
- ・配線用の穴、点検口はこのタイミングで施工する

吊元側天井見上げ図



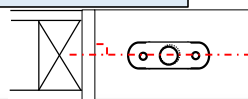
A-A断面図



上部フロアヒンジ受け取付け写真



吊元側天井見上げ図



吊元側天井見上げ図



天井面に吊元側縦柵下地から図に示す位置に穴加工をする。

- ・ヒンジ用穴: φ23mm
- ・配線用穴: 楕円 32x67mm

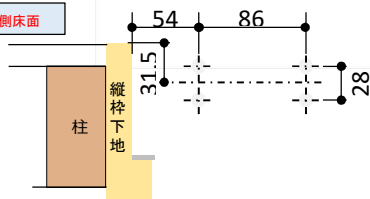
注意！  
天井点検口を設置してください。

注意！  
※レーザー墨出し機などを用い、上下のヒンジ中心を正しく墨出しする様にしてください。  
※上部ヒンジ受けのセンターは下部ヒンジ受けのセンターとずれないように取付ける  
※扉は最大で70kgになります。下部ヒンジを取付ける床は十分な補強をしてください。  
開閉に支障が出る場合が考えられます。

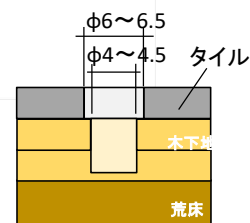
＜タイルのフロアに施工する場合＞  
固定ビスはφ6mmです。  
タイルにはφ6mm以上、木下地にはφ4.5mm以下の下穴を

### ヒンジ取付位置

吊元側床面



固定ビスはφ6mmです。  
必ず下穴(φ4～4.5mm)を



## □スイングドア【ミラオス専用】

### 4 扉

a. 吊り込み前に扉側下部ヒンジの軸を回転させる必要が有ります。回転方法は下図の方法で行います。

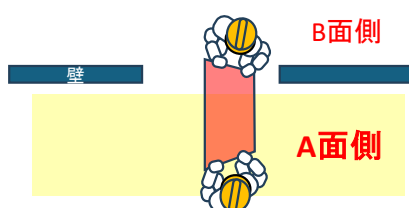
吊り込みの位置によって回転方向が変わりますので、注意して軸回転→吊り込みを行ってください。

※回転方向と吊り込み位置を間違えると、正しく開閉が出来なくなるばかりでなく、ヒンジを破損させる場合があります。

b. 現場の状況を加味して、吊り込む位置を“A面側”か、“B面側”を決定します。

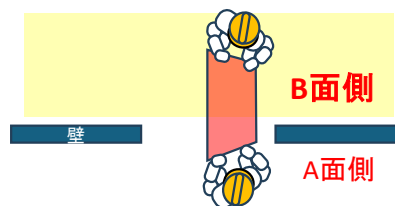
#### ”A面側”で吊り込む場合

吊り込み位置イメージ図<上面視>



#### ”B面側”で吊り込む場合

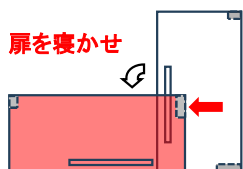
吊り込み位置イメージ図<上面視>



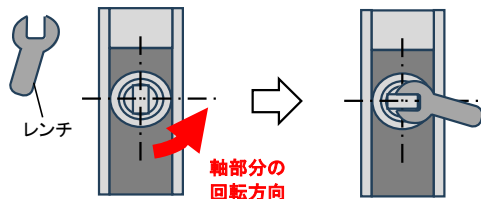
扉の吊り込みは下ヒンジ→上ヒンジの順で行います

#### 下部ヒンジ扉組付け後の回転（再吊り込み）

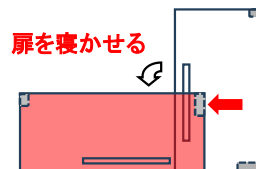
扉を寝かせ



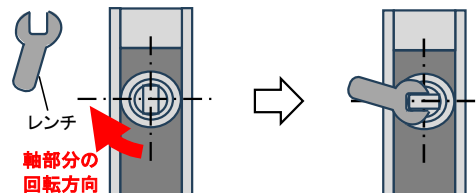
○ヒンジの軸部分をモンキーレンチ等で回転させる



扉を寝かせる



○ヒンジの軸部分をモンキーレンチ等で回転させる



## □スイングドア【ミラオス専用】

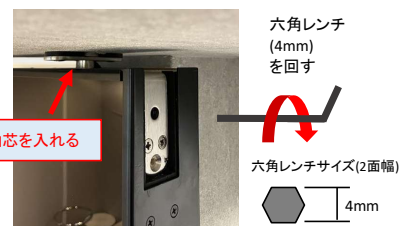
施工手順書2026/1改訂

### クロス施工に関するポイント！！

- ・扉の吊り込みは、下ヒンジ→上ヒンジの順で行います
- ・枠へ石膏ボードを枠に突き付け隙間の無い様にする
- ・メッシュテープを活用し、痩せ、割れの対策をする
- ・クロス寄れに注意する

扉を90度開いた状態で、上部フロアヒンジ受けの軸受けと、扉側の上部ヒンジの軸芯を合わせてください。  
扉側の上部ヒンジ木口面の調整ネジを六角レンチ(4mm)で回し、軸芯を全て出して軸受けに入れてください。

軸受けに軸芯を入れる



#### 注意！

軸受けと軸芯を合わせ、調整ネジを回して軸芯を軸受けに入れる。  
※軸芯は必ず全て出して、軸受けに入れてください。

電源の接続  
天井点検口内に設置され  
たコンセントに接続する

”A面側”で  
吊り込んだ場合

【扉の重量に注意】  
扉重量は70kg以上となります。  
安全のため必ず2人以上で吊



90度開いた状態で、下部フロアヒンジ受けに  
扉側の下部ヒンジの軸を入れる

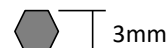
## □スイングドア【ミラオス専用】

### 5 調整

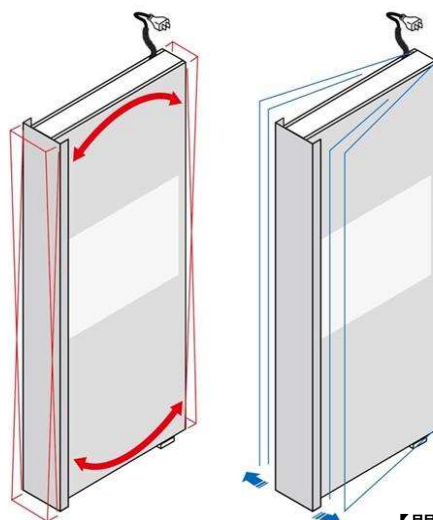
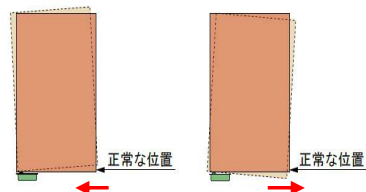
#### クロス施工に関するポイント！！

- ・枠へ石膏ボードを枠に突き付け隙間の無い様にする
- ・メッシュテープを活用し、痩せ、割れの対策をする
- ・クロス寄れに注意する

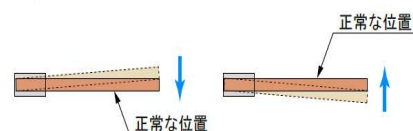
六角レンチサイズ(2面幅)



開口との隙間調整



扉の閉鎖位置調整



#### 【閉鎖位置の調整】

上記写真の4本の調整ネジを六角レンチで調整  
の2本の調整ネジを六角レンチで調整

#### 【開口との隙間調整】

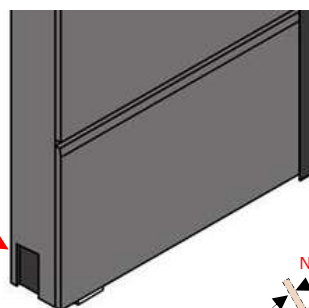
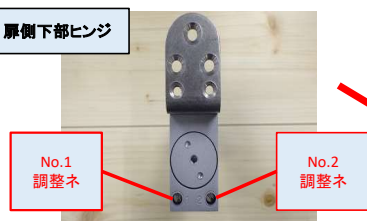
上記写真の2本の調整ネジを六角レンチで調整

#### 注意！

- ※調整をする時は一度6箇所の調整ネジを全て緩めてから調整して下さい。
- ※調整は、必ず6本全ての調整ネジを締め込んでください。締め忘れると使用中に位置がズレたり、異音が生ずる可能性があります。
- ※扉を調整する上で戸先の停止位置がふらつく場合はイモネジの締込不足です。調整位置が確定した後に再度両側から締め込んで固定してください。

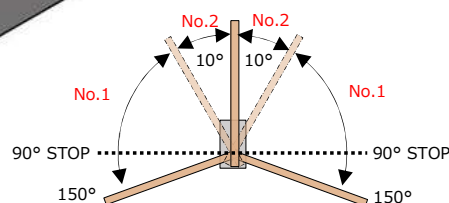
扉側の下部ヒンジにある速度調整ネジを回して開閉速度調整ネジ(No.1及びNo.2)をマイナスの手動ドライバーで回して開閉速度を調整してください。

扉側下部ヒンジ



#### 【調整範囲】

- ・No.1: 開閉角度 10° ~ 150°
- ・No.2: 開閉角度 0° ~ 10°



#### 注意！

- ※No.1とNo.2の開閉速度の差を極端に変化させないでください。異音が生ずる恐れがあります。
- ※No.1とNo.2それぞれの開閉速度調整ネジを締め過ぎないでください。締め過ぎると扉が動かなくなります。
- ※No.1とNo.2の開閉速度調整ネジを必要以上に回転操作すると、閉扉動作に支障をきたしたり、油が漏れ出るおそれがあります。

## □スイングドア【ミラオス専用】

### ■ 各カバーの取付

#### ①【扉側ヒンジのカバー取付け】

＜上側＞

カバーをビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。

※ビスは扉側上部ヒンジで使用したビスと同じものです。

＜下側＞

カバーを同梱ビス2本で取付けてください。

上側カバーをビスで取付け

下側カバーを付属のビスで取付け

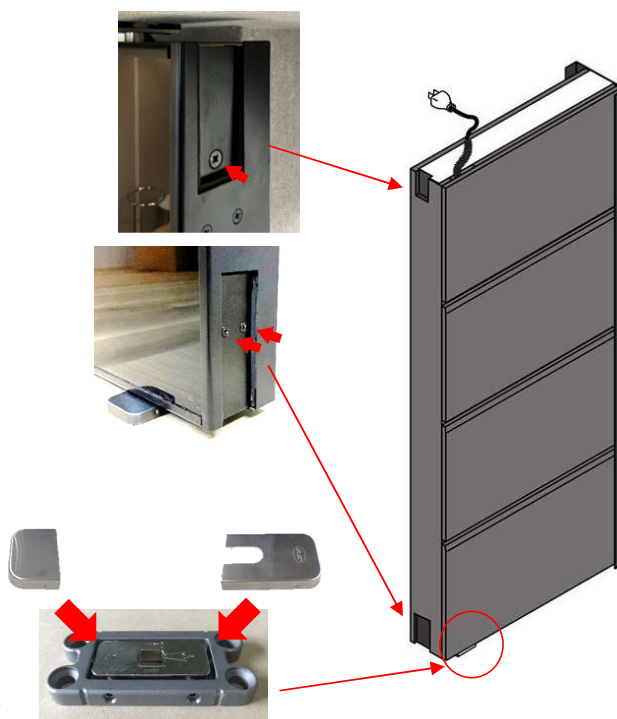
※ネジは強く締め過ぎないように注意

#### ②【下部フロアヒンジ受けのカバー取付け】

下部フロアヒンジ受けに、戸先側と戸尻側からカバーをはめ込んでください。

下部フロアヒンジ受けのカバー取付け

※扉側のカバーをビス止めする時は、手動ドライバーで取付けてください。締め過ぎると、カバーが変形する



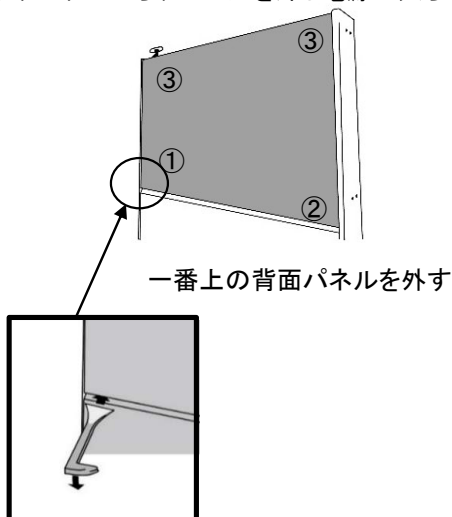
## □スイングドア【ミラオス専用】

### 6 こんなときは

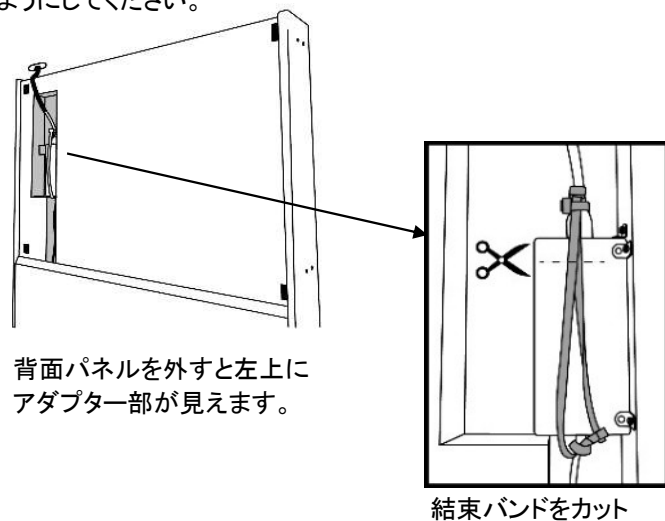
- ・フロントパネルの保護シートは引き渡しまで外さない事
- ・モニター異常時にはパネルを外し、アダプターへの電源供給を遮断する
- ・バックパネルの形状、取付方法が異なる
- ・戸当り施工には注意！

#### モニターの異常時の対応

- ・緊急時は速やかに電源コードを抜いてください
- ①一番上の背面パネルを外す(簡単に外れないように強く取付いています)
- ②アダプターを固定している結束バンドを切ってください。
- ③アダプターからケーブルを外し電源が入らないようにしてください。



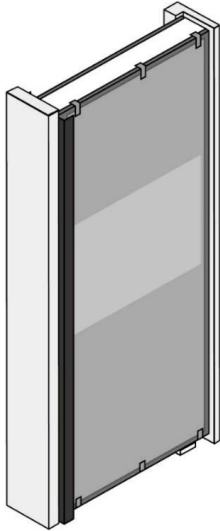
最初に左下隅の角を内装バールで外してください。



結束バンドをカットするとアダプターが抜けるようになるので速やかにアダプターを抜いて電源を遮断してください。

## □スイングドア【ミラオス専用】

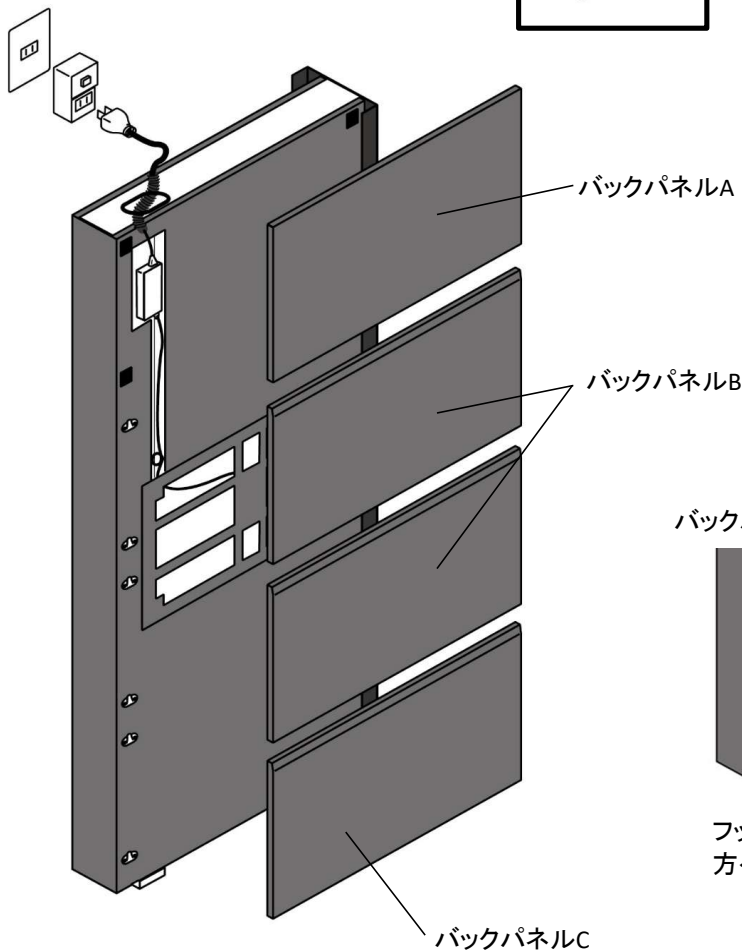
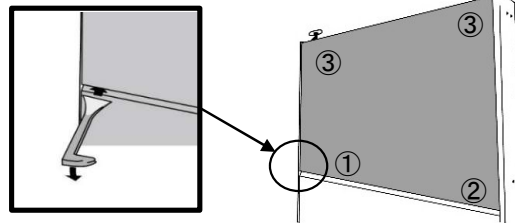
### パネルの外し方



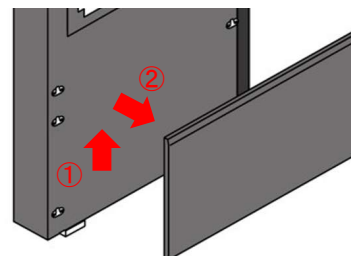
フロントパネルの保護シートはお施主様引き渡し当日まで取付けた状態にしてください。  
キズの原因となります。

#### バックパネルAの取外し方

バックパネルAは強力なマジックテープ(4ヶ所)で取付けられています。  
最初に左下隅の角を内装バール等を使って外してください。  
その後、隙間に手を入れて番号順に外してください。



#### バックパネルB,Cの外し方



フック(4ヶ所)で取付けられているので、上方へスライドし外してください。

## 扉開閉時に異音がする場

### ①フロアヒンジ取付ビス緩み確認



扉を開閉する際以下の症状が出た場合、カバーを外しフロアヒンジの2か所を①、②を確認し必要に応じて増し締めしてください。

- ・ゴトツと音がする
- ・閉扉位置が定まらない

※定期的な(1年に一回目安)増し締めをおすすめします。

### ②調整用ネジ緩み確認



緩みが確認された場合ドライバーで締付けてください。

緩みが確認された場合、戸先側の位置を確認しながらしっかりとネジを締付けてください。

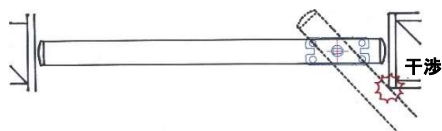
また、必要に応じネジロック材(ロックタイト 243)を使用してください。

六角レンチサイズ(2面幅)

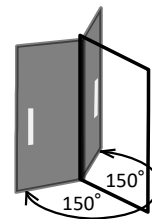


## 戸当り施工時の注意！

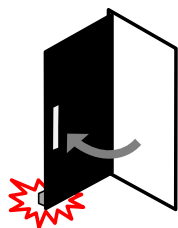
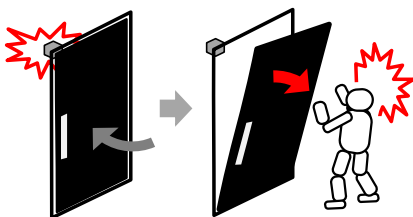
### 【壁納まりの場合】



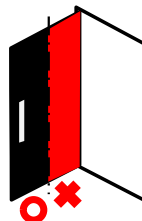
- 150度以上開かないように戸当りを取付けてください。150度以上開けるとヒンジ金物が破損する恐れがあります。



- 片側のみ開閉する様な戸当りの設置は絶対にやめてください。扉脱落に繋がり大変危険です。



- オプションの床付け戸当りを取付ける場合は、扉を勢いよく開けないよう注意してください。勢いよく開けると、床付け戸当たり及びヒンジ等の破損の原因となります。



- 戸当りは戸先側に当たるように取付けてください。戸尻側に取付けると戸当りが破損する恐れがあります。